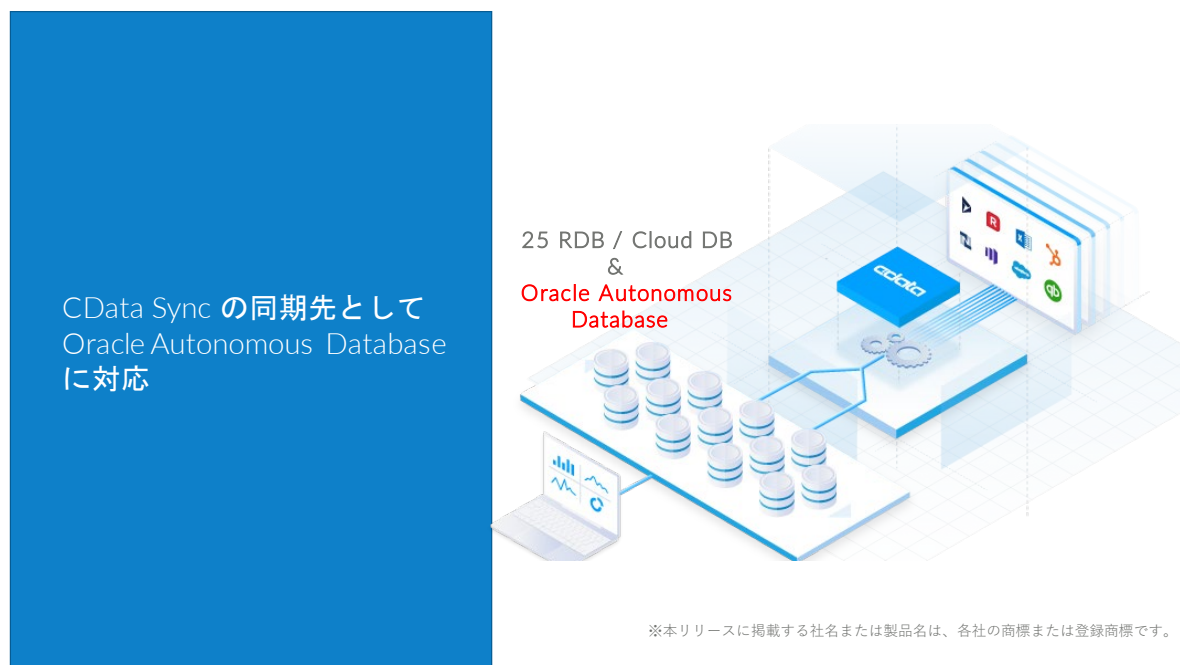


2023年2月1日

CData Software Japan 合同会社
株式会社スマートスタイル

データ分析基盤へのデータパイプラインツール『CData Sync』が Oracle Autonomous Database に対応
～Salesforce、Marketo Engage、ServiceNow、SAP などのデータを Autonomous Database に集約～

2023年2月1日、CData Software Japan 合同会社（本社：アメリカノースカロライナ州、日本オフィス：宮城県仙台市、代表社員 職務執行者：疋田 圭介、以下 CData）は、株式会社スマートスタイル（東京都港区、代表取締役社長：河野 一）と共同で、SaaS / DB データをデータ分析基盤に統合するデータパイプラインツール『CData Sync』が同期先として Oracle Autonomous Database に対応したことを発表しました。これにより企業は Salesforce、Marketo Engage、ServiceNow、SAP など多様な SaaS / アプリケーションのデータを Oracle Autonomous Database に統合するコストや時間を数分の一にでき、データドリブンな経営を推し進めることが可能になります。



■データの分析処理に最適化された Oracle Autonomous Database

Oracle Autonomous Database は、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) で提供される自律型データベースです。Autonomous Data Warehouse は分析処理に最適化されたクラウド・データベース・サービスで、コンピューティングとストレージを自動的にスケーリングして高速

News Release

クエリパフォーマンスを実現し、データベース管理は不要です。

■Oracle Autonomous Database 分析環境への業務データの集約を自動化

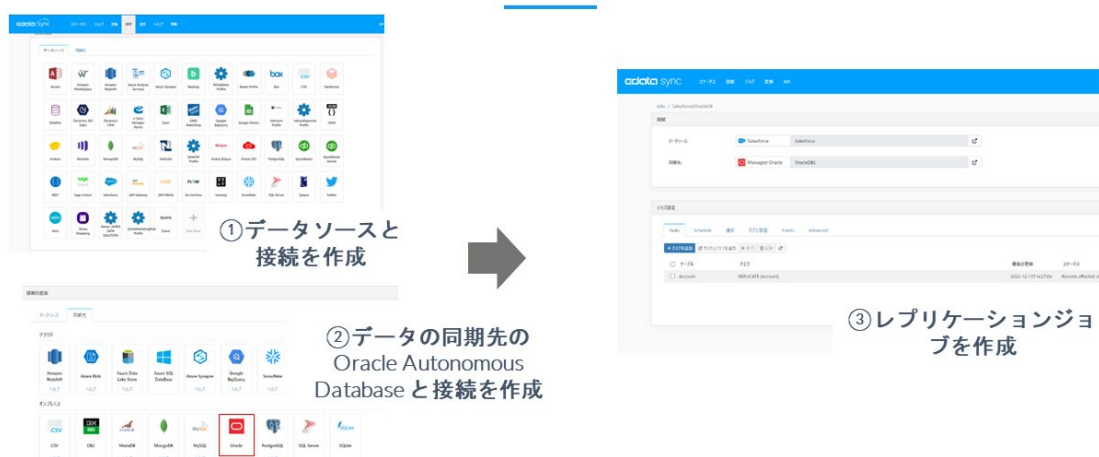
企業の業務データの分析利用は、あらゆる業種・規模の企業に必須の課題です。しかし、企業の業務データは SaaS・クラウド・オンプレミスに分散し、データ分析の前のデータ収集・データ整備に多くの時間やリソース負荷がかかっている状況です。CData Sync のデータの同期先として Oracle Autonomous Database が利用可能となることで、Salesforce、Marketo Engage、Dynamics 365、NetSuite、SAP、kintone などの業務データをノーコードでデータ分析基盤である Oracle Autonomous Database に簡単に収集できるようになりました。企業はリソースをデータの活用に集中させ、デジタルトランスフォーメーション (DX) の実現を引き寄せることができます。

■CData Sync での 3 ステップでの Oracle Autonomous Database への SaaS データ同期

CData Sync では、①データソースの設定、②同期先として Oracle Autonomous Database の設定、③レプリケーションジョブの設定、の 3 ステップで業務データの Oracle Autonomous Database への統合がノーコードで実現できます。

- データパイプラインに特化した使いやすい UI でノーコードでジョブの作成、フィルタリングが可能
- 400 を超える SaaS・アプリケーション・DB 対応データソース
(<https://www.cdata.com/jp/sync/connections/all.aspx>)
- CData Sync はオンプレでも OCI などのクラウド上でもホスティング可能
- 差分更新や Oracle Database を含む RDB の CDC (変更データキャプチャ) に対応

3ステップで業務データをOracle Autonomous Database に同期



※本リリースに掲載する社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。



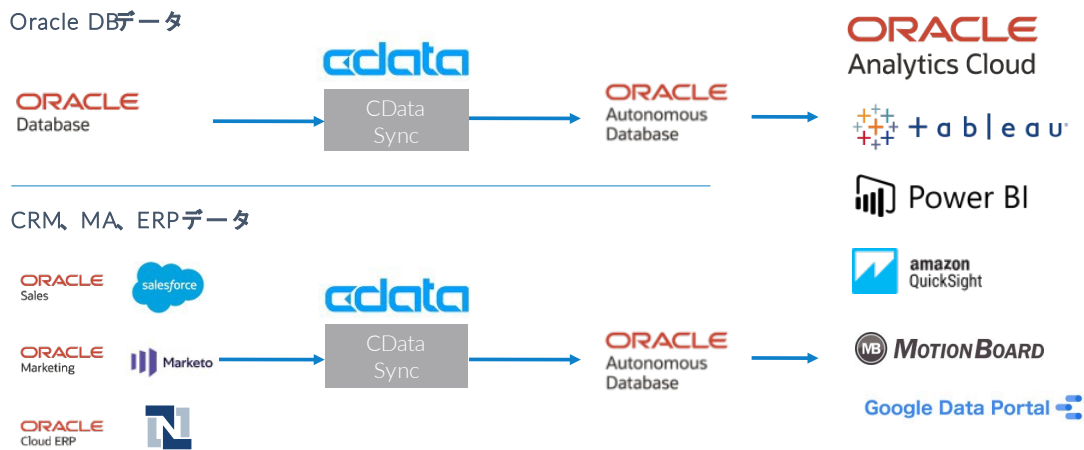
News Release

CData Sync を活用することで、Oracle Autonomous Database に必要な業務データを複製し、多くの企業がかかえる以下のようなシナリオを簡単に実現できます：

シナリオ 1：オンプレミスやクラウドの Oracle Database のデータをクラウドの Oracle Autonomous Database に差分更新でレプリケート

シナリオ 2：Oracle Sales、Salesforce などの CRM、Oracle Eloqua Marketing Automation、Marketo Engage などの MA、Oracle ERP Cloud、NetSuite、SAP などの ERP のデータを DWH である Oracle Autonomous Database に統合し、顧客データの 360 度分析を実現

Oracle Autonomous Database を分析の基盤に



※本リリースに掲載する社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

© 2022 CData Software Japan, LLC | www.cdata.com/jp



■日本オラクル株式会社 常務執行役員 アライアンス統括 佐野 守計氏

日本オラクルは、CData Sync の Oracle Autonomous Database への対応を歓迎します。CData Sync と Oracle Autonomous Database の連携により、お客様内の業務ごとに分散された SaaS 上のデータが効率的に Oracle Autonomous Database に集約され、お客様の意思決定がより迅速に行われるようになることを期待します。

そして、この連携がスマートスタイル様が掲げる Data Architecture Initiative に寄与するものと確信しております。

■CData Sync のハンズオンセミナーを開催します

名称：ノーコードデータレプリケーション / ETL ツール CData Sync ハンズオンセミナー

日時：2023年2月15日（水） 16:00-17:00

形式：Zoom

申込：<https://eventregist.com/e/cdatasync202302>



News Release

<スマートスタイルについて：<https://www.s-style.co.jp/>>

スマートスタイルは、2004年よりオラクル社が提供するオープンソースのリレーショナルデータベース管理システム「MySQL」のパートナーとして、MySQLを中心としたデータベースのコンサルティングやサポートを提供しています。また、2018年5月からは、日本オラクル社のクラウド販売パートナーとして、OCIの再販・導入、運用支援などのサービス提供を行っています。

※スマートスタイル社は、オラクル社より Oracle Cloud の構築・展開・実行・管理に関する専門技術と実績を示す、MySQL 8 および Oracle Cloud Platform の Sell Expertise の認定を受けています。

<CData Software について：<https://www.cdata.com/jp/>>

CData Software, Inc. は、クラウドデータの接続ソリューションおよびデータ連携ツールのリーディングベンダーです。250以上のSaaS、NoSQLやアプリケーションデータに標準接続するドライバーとデータ接続テクノロジーの開発に特化し、各種ツール、クラウドサービス、カスタムアプリケーションからのリアルタイム接続を実現します。CData製品は、世界中の企業のデータ統合ソリューションにて利用されているほか、Salesforce、TIBCO、アステリアなど150以上のデータ製品ベンダーにOEMされています。

CData Sync (<https://www.cdata.com/jp/sync/>) は、400+のSaaS/DBをサポートするデータパイプラインツールです。オンプレミスDBやクラウドに分散する業務データをノーコードでRDBやDWHに統合できます。

※Oracle、Java および MySQL は、Oracle Corporation、その子会社および関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。本リリースに掲載する社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

本件に関するお問い合わせ先

CData Software Japan 合同会社 マーケティングデスク

E-mail : press@cdata.co.jp